



2024年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 株式会社マサル

上場取引所 東

コード番号 1795 URL <https://www.masaru-co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 勝又 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 近藤 雅広

TEL 03-3643-5859

四半期報告書提出予定日 2024年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	4,658	14.8	393	49.3	407	50.0	270	51.9
2023年9月期第2四半期	4,059	7.8	263	3.9	271	2.6	178	1.1

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 303百万円 (75.4%) 2023年9月期第2四半期 173百万円 (2.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	306.45	
2023年9月期第2四半期	202.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	7,473	4,950	66.2
2023年9月期	7,540	4,754	63.1

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 4,950百万円 2023年9月期 4,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期		0.00		140.00	140.00
2024年9月期		0.00			
2024年9月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,750	1.3	430	14.8	450	13.8	295	14.4	336.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	901,151 株	2023年9月期	901,151 株
期末自己株式数	2024年9月期2Q	15,113 株	2023年9月期	19,913 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	883,625 株	2023年9月期2Q	878,913 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき算定しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって数値予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、高インフレや海外経済の減速が悪影響となる中、能登半島地震などの下押し要因も重なり、景気の減速感が強まりました。金融市場では、日経平均株価がバブル期の1989年末につけた史上最高値を約34年ぶりに更新し、為替相場は円安・ドル高傾向が続きました。

建築業界では、建築資材の価格上昇分の受注価格への転嫁ができつつあるものの、人手不足や工期延長等の影響もあり工事の採算性は充分には回復していない状況です。足元では大型再開発案件が進行し、首都圏の非居住用建物着工床面積が、前年同期間(2022年10月～2023年3月)比で約6.7%増加したほか、ゼネコン大手50社の建築受注が前年同期間(2022年10月～2023年3月)比で約11.0%増加しました(参考:国土交通省建築統計データ)。

また、都心5区のオフィスビルの平均空室率は2024年1月以降5%代に低下し、3月には3年ぶりの低水準となりました(参考:三鬼商事レポート)。賃料も二極化の傾向にあるものの回復基調が強まってくる等、市況が変化しつつあります。

第3四半期以降につきましては、大型再開発案件が進行し工事量も増加していくことが予想されるものの、人手不足に加え4月以降の建設業における残業規制により労務費の上昇等のコスト増加により、採算が悪化することが懸念され、先行き不透明な状況が続くと想定しております。当社としましては、働き方改革に取り組みつつ、採算性に留意した受注活動に注力してまいります。

このような経営環境のなか、2021年10月から2030年9月までの9年に及ぶ長期経営計画「100年選ばれ続ける会社を目指す!」を策定し、急激に変容していく経営環境の中でも永続的な成長ができる総合専門工事会社となることを目指しております。最終年度の達成目標として、1.「ゼネコン上位10社でのシェアNo.1」、2.「ROE15%」、3.「成長性分野開拓」を掲げ、SDGsへの取り組みを強化し長期的視野で着実な態勢整備と業務推進により業容の拡大、業績の向上を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間までの取組み状況につきましては以下の通りです。

「ゼネコン上位10社でのシェアNo.1」

- ・ゼネコン各社への営業強化により、各社でのシェア伸張

「ROE15%」

- ・新築工事においては受注競争が激化している環境下、他社との技術的な差別化が図れる提案等により、採算性が高い案件を入手
- ・改修工事、直接受注工事においては特命案件の入手、精度の高い予実管理による利益積上げ

「成長性分野開拓」

- ・子会社における事業領域の拡張

長期経営計画において「永続的な成長ができる総合専門工事会社」となることを目指しておりますが、2024年3月25日に開示致しましたとおり、大阪に本社を置く空気設備工業株式会社の全株式を株式会社マサルの100%子会社である株式会社マサルファシリティーズが取得し、新たな事業として株式会社マサルファシリティーズと事業領域拡張を目指します。尚、2024年3月27日に締結した株式譲渡契約により2024年4月8日に全株式の取得を完了致しました。

また、2024年1月に株式会社イノベイトを設立し、材料販売、備品リース等を行っていた旧資材課業務を移行、今後、販売先の拡大、新規業務の取り込み等による業務拡大を目指すことと致しました。

- ・付加価値の高い新たな工種の提案等により新規顧客を獲得
- ・施主直工事の受注拡大を目指し、網羅的なデータを活用したマーケティングリサーチを継続

また、2022年10月に新設したウェルネス推進室を核として社員の健康を改善増進する活動に取り組み、2024年3月に健康経営優良法人に認定されました。他にも、人事制度改定に併せた賃上げ、子育て支援、過重労働の防止、国家資格取得支援、健康診断オプション検査補助等、ワークエンゲージメントも目指した人的投資を強化しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、受注高につきましては、41億26百万円（前年同四半期比12.3%減）となりました。売上高につきましては、46億58百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。利益につきましては、営業利益は3億93百万円（前年同四半期比49.3%増）、経常利益は4億7百万円（前年同四半期比50.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億70百万円（前年同四半期比51.9%増）となりました。当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前事業年度から完工時期が延期となった大型現場が第2四半期に完工したことや追加工事が増加したこと等により、2023年11月14日に発表した2024年9月期の連結業績予想第2四半期累計値を上回りました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（建設工事業）

売上高は43億46百万円（前年同四半期比23.9%増）となり、セグメント利益は3億52百万円（前年同四半期比108.5%増）となりました。受注高につきましては、39億40百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

（設備工事業）

売上高は3億13百万円（前年同四半期比43.0%減）となり、セグメント利益は41百万円（前年同四半期比56.4%減）となりました。受注高につきましては、1億85百万円（前年同四半期比35.5%減）となりました。

なお、当社グループは、完成工事物件の引渡し第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中するため、四半期連結会計期間の売上高には季節的変動があります。

（2）財政状態に関する説明

（資 産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は58億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に未成工事支出金が減少したことによるものであります。固定資産は16億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。

この結果、総資産は74億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。

（負 債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は23億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億98百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は1億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は25億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億63百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は49億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.2%（前連結会計年度末は63.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日に発表いたしました連結業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,868,051	1,929,090
受取手形	64,830	97,240
電子記録債権	330,786	345,040
完成工事未収入金	1,443,566	1,589,584
契約資産	822,956	762,608
未成工事支出金	1,087,106	936,935
材料貯蔵品	12,253	10,739
その他	281,237	181,511
貸倒引当金	△1,257	△1,253
流動資産合計	5,909,531	5,851,497
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	640,401	632,652
土地	399,007	399,007
その他（純額）	5,054	6,830
有形固定資産合計	1,044,463	1,038,490
無形固定資産		
ソフトウェア	10,191	6,933
その他	2,206	1,750
無形固定資産合計	12,397	8,683
投資その他の資産		
投資有価証券	97,150	145,216
長期貸付金	—	6,218
その他	548,833	495,314
貸倒引当金	△72,350	△72,353
投資その他の資産合計	573,633	574,395
固定資産合計	1,630,494	1,621,568
資産合計	7,540,025	7,473,066

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	611,565	571,053
買掛金	—	12,576
電子記録債務	409,674	341,635
1年内返済予定の長期借入金	213,750	239,322
未払法人税等	218,660	111,265
契約負債	750,682	697,867
賞与引当金	152,320	69,571
役員賞与引当金	56,045	22,360
完成工事補償引当金	8,471	5,185
工事損失引当金	45,917	75,960
その他	173,581	195,361
流動負債合計	2,640,669	2,342,158
固定負債		
長期借入金	101,396	137,150
その他	43,860	43,069
固定負債合計	145,256	180,219
負債合計	2,785,926	2,522,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,697	885,697
資本剰余金	1,265,032	1,266,914
利益剰余金	2,663,131	2,810,548
自己株式	△58,702	△44,552
株主資本合計	4,755,158	4,918,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,059	32,080
その他の包括利益累計額合計	△1,059	32,080
純資産合計	4,754,099	4,950,688
負債純資産合計	7,540,025	7,473,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
完成工事高	4,059,148	4,658,489
完成工事原価	3,231,216	3,671,485
完成工事総利益	827,931	987,004
販売費及び一般管理費	564,308	593,384
営業利益	263,623	393,620
営業外収益		
受取利息	70	40
受取配当金	810	725
受取賃貸料	1,200	3,323
技術指導料	5,133	6,413
助成金収入	1,287	245
その他	710	3,551
営業外収益合計	9,212	14,299
営業外費用		
支払利息	934	820
その他	576	19
営業外費用合計	1,510	839
経常利益	271,326	407,080
税金等調整前四半期純利益	271,326	407,080
法人税、住民税及び事業税	108,830	96,468
法人税等調整額	△15,719	39,821
法人税等合計	93,111	136,289
四半期純利益	178,214	270,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,214	270,790

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	178,214	270,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,931	33,140
その他の包括利益合計	△4,931	33,140
四半期包括利益	173,283	303,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,283	303,930

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。